

「認知的インタラクションデザイン学」公開講義

京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 情報工学専攻では、2015年度より、インタラクションデザイン学コースを設置し、そこでの授業として「認知的インタラクションデザイン学」を開講しています。本講義は、公開講義として実施しますので、学内外から、どなたでもご参加いただくことができます。参加費無料、事前登録は不要です。

問い合わせ先: 京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 岡 夏樹 (nat AT kit.ac.jp)

演題: 人を引き込む身体的コミュニケーション技術

講師: 渡辺 富夫(岡山県立大学情報工学部情報システム工学科 教授)

日時: 2016年6月29日(水) 14:30-16:00

会場: 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 東部構内 東3号館(ノートルダム館) 2階 K-203教室

概要: うなずきや身振りなどの身体的リズムの引き込みをロボットやCGキャラクタのメディアに導入することで、対話者相互の身体性が共有でき、一体感が実感できる身体的コミュニケーション技術と、メディア場にはたらきかけることで場を盛り上げる身体性メディア場の生成・制御技術を研究開発している。これらの身体的引き込みメディア技術は、人のインタラクション・コミュニケーションの解析理解と創出支援技術であり、高度メディア社会の生活情報技術である。とくに音声から豊かなコミュニケーション動作を自動生成する技術は、人とかわるロボット・玩具、メディアコンテンツ、e-Learningやゲームソフト等に導入・実用化されており、教育・福祉・エンタテインメントなど広範囲な応用が容易に可能で、その応用事例も紹介する。



認知的インタラクションデザイン学

